

## 「本研究会で検討が必要と思われる事項」からの整理について

〔注：【N】NHK、【民】民間放送事業者  
「番号」は第2回研究会資料1の要望事項番号を示す〕

## 1. 緊急・災害時における情報保障

検討項目	対応・考え方の要点
18) 緊急時の字幕放送の実施	<p>【N】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緊急災害時については、<u>一層努力していきたい。</u></li> <li>○ 制作・送出スタッフの確保とそのコストが課題。特に夜間や土日の初動要員体制の確立、交代要員の確保が大きな課題。</li> <li>○ 音声自動認識装置の認識率の向上など更なる技術的な進歩・改善も課題。</li> </ul> <hr/> <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高度な技術を持つ字幕オペレーターの数が絶対的に不足しており、そのような専任の人間を確保しておくことは、<u>コストの面から考えても不可能。</u></li> <li>○ 大災害時にはまず放送の継続そのものが問題となり、生字幕に対応する要員確保や制作体制の維持が通常時よりもさらに大きな問題。</li> <li>○ 全放送局で一体として課題を共有し、対応することも必要。</li> </ul>

## 2. 字幕放送の充実

検討項目	対応・考え方の要点
21) 字幕放送の義務化	<p>【N】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 字幕放送については、拡充に努めており、平成 29 年度までの拡充計画の達成に全力で取り組んでいく。</li> <li>○ 義務化については、平成 29 年時点の字幕付与の状況や技術的状況等を視野に入れ、改めて幅広い観点から多角的な議論を行うことが必要。</li> </ul> <hr/> <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かな変換が複雑な日本語の特徴や、生放送が多いなどの日本の放送特有の事情があり、<u>義務化にはなじまない</u>。</li> </ul>
25) テレビCMへの字幕付与について普及目標設定	<p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在京テレビ社を中心にトライアルを積み重ねており、それらを踏まえ、民放連の場でCM素材の搬入ルールの取りまとめを目指し、検討を進めている。</li> <li>○ テレビ社側でCM素材に字幕を付与することはできない。</li> <li>○ 現状では、広告を出稿する側の体制が整うまでには時間を要するため、<u>普及目標を設定する環境にはないと考える</u>。</li> </ul>
26) ローカル局の自主制作番組における字幕放送の充実	<p>【N】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>段階的にローカル局の字幕拡大にも取り組んでいく</u>。</li> <li>○ 地域において字幕付与を行う体制や基盤の整備に一部着手したという段階。</li> </ul> <hr/> <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ローカル局といっても、設備等に大きな違いがあり、一律に扱うことは難しい。</li> <li>○ ローカル局の収入規模等を考えると、<u>字幕放送設備を直ちに準備することや、字幕制作要員の確保は困難</u>。</li> <li>○ 地方には制作会社が少なく、外注するにも受け皿が少なく、通信費負担が生じることも問題。</li> </ul>

### 3. 解説放送等の充実

検討項目	対応・考え方の要点
31) テロップの副音声化等	<p>【N】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合成した音声による読み上げで対応する方法では、読み上げ自体が<u>実用化に至っていない</u>。</li> <li>○ 合成した音声を副音声で自動送出するためには、放送局設備の対応が必要。</li> <li>○ アナウンサー等による読み上げで対応する方法では、<u>要員の確保が課題</u>。</li> </ul> <hr/> <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送運行を自動化（APS）しており、速報時のみ副音声対応することは、<u>システム上困難</u>。</li> <li>○ システム上の問題をクリアしても、主音声と全く別の音声が流れ、かえって聞き取りにくいなどの課題が残ると考えられる。</li> </ul>
32) 外国語放送への副音声等による翻訳音声放送	<p>【N】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人のコメントについては、<u>出来る限り吹き替えを行うよう努力している</u>。</li> <li>○ すべてについて音声の吹き替えを行うには、時間や要員の制約という課題がある。</li> <li>○ NHK技術研究所で、ニュースのような文章を単調に読み上げる合成音は作成できるようになったが、<u>放送品質には至っていない</u>。</li> </ul> <hr/> <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人のインタビューなどには、ボイスオーバーして日本語訳音声をつける場合も多くなってきているが、当該ニュースの<u>入ってきた時間と放送時間の関係などから、100%の付与は困難</u>。</li> </ul>

#### 4. 手話放送の充実

検討項目	対応・考え方の要点
19、21) 行政指針に手話放送の普及目標も追加し、将来的には義務化	<p>【N】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 優秀な手話通訳者の確保も大きな課題。</li> <li>○ 数値目標の設定は困難。</li> <li>○ NHK技術研究所では、手話CGやハイブリッドキャストの研究開発を進めているが、制度の見直しや標準化が必要、手話通訳者の要員確保等の課題がある。手話CGの実用化にはまだ時間がかかる。</li> <li>○ 義務化に関しては、課題が山積しており、平成 29 年時点での実績を踏まえ、より実効的な議論を行うことが望ましいと考える。</li> </ul> <hr/> <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「手話映像のオン・オフが技術的にできない」…「手話通訳者の確保においても課題が多い」、という理由から、民放においては数値目標の設定は困難。</li> <li>○ (上記の理由から) 民放においては義務化は困難。</li> </ul>

#### 5. その他

検討項目	対応・考え方の要点
23) 放送と通信の融合	<p>【N】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来的な議論として、あらゆるメディア・手段等を取り込んだ情報保障のあり方について議論していくことも必要と考える。</li> </ul> <hr/> <p>【民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ウェブサイトに掲載する動画ニュースには、キー局を中心にテキストを掲載するなど、放送事業者として可能な限りの努力をしている。</li> </ul>

## 検討が必要と思われる事項の一覧

第2回研究会資料1において本研究会で検討が必要と思われる事項とした要望事項	主な検討項目
18) 緊急時の字幕放送の実施を求める	○
19) 「視聴覚障害者向け放送行政普及の指針」に手話放送の普及目標も追加し、将来的には義務化して欲しい（手話放送の普及目標検討に当たり、様々な番組の構成に応じて手話通訳を付ける方法、手話を使って話す場面を増やす方法、クローズドキャプション方法による手話放送等について検討して欲しい）	○
20) 特に緊急・災害時には字幕放送と手話放送を義務化するよう早急に検討して欲しい	
21) 平成29年以降に字幕放送、手話放送の義務化を実現するよう、検討して欲しい	○
22) 字幕放送・手話放送にあたっては、技術やルールを標準化し、各局の字幕放送・手話放送に格差がでないように検討をお願いする	
23) 放送と通信の融合の形態も対象にする	○
24) 指針の普及目標とする対象時間及び番組の枠をはずし、すべての番組に100%字幕をつけるように目標設定を求める	
25) テレビCMへの字幕付与についても普及目標を設定して欲しい	○
26) 字幕放送の法的義務付けに関し、キー局の他、ローカル局も対象とする（IPマルチキャスト放送、BS、CS、放送大学など目標と達成方法は異なってもよい。）	○
27) 緊急時の字幕放送実施に向け、音声認識に代わる方式について各放送事業者で検討すべき	
28) 解説放送とは番組のどこまで解説が入っているものとするのか区分・定義が明確でない	
29) NHKや民放の区別なく目標設定をして欲しい	
30) （緊急時放送において）アナウンサーの横に手話通訳者を立たせるようにして欲しい	
31) 緊急字幕放送やニュースにおけるテロップを、副音声化等により、視覚障害者にもわかるように実施して欲しい（テレビの文字情報を音声化して欲しい）	○
32) 外国語放送は、副音声等により翻訳音声を放送して欲しい	○
33) データ放送については音声と点字の両方で対応できるようにする必要がある（実現の課題は何か）	
34) 簡単リモコンに字幕ボタンのないものがあるので、是非字幕ボタンを付けて欲しい	
35) 自治体に防災、減災、防犯の高齢者向けICTセミナーを実施していただけるようお願いする	